

# 物理談話会

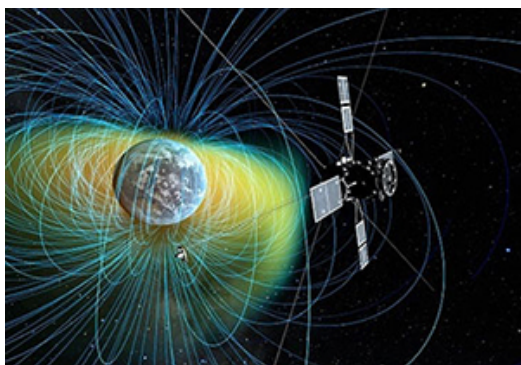
## (先端物理学・宇宙地球科学輪講)

【日時】 10月13日(金)14:40~16:10

【場所】 大阪大学理学部本館D棟5階(D501)

題目: 宇宙機による粒子計測から迫る太陽地球(惑星)系科学  
講演者: 横田勝一郎(宇宙地球科学専攻)

宇宙のほとんど全てはプラズマに占められていて、この太陽系も太陽から放出される超音速のプラズマ流(太陽風)で満ちています。太陽風は地球に対して磁気嵐やオーロラ現象を引き起こすため、地上観測から後に宇宙機による観測も交えて太陽地球系科学への取り組みが盛んに行われてきました。その中で宇宙機による粒子計測はその場のパラメータを取得する有効な手段として構築され、宇宙機技術の発展により観測対象は他の惑星にも及ぶようになりました。現在では宇宙機は周回機のみではなく着陸機までも登場して、特に質量分析器には太陽惑星系科学において物理機構の解明のみならず、惑星や太陽系の起源・進化にも迫ることが期待されています。本講義では粒子計測の視点から太陽惑星系科学への取り組みについてお話し、最近や将来の太陽系探査計画を紹介したいと思います。



物理談話会(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

<http://www.phys.sci.osaka-u.ac.jp/ja/grad/rinkou.html>